

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 BAMBOOHATKIDS かごはら教室		公表日		令和 8年 3月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 整 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		必要に応じて行動の観察記録用紙や計測表などを活用しています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		できるだけ、多職種2名以上で訪問できるように人員配置を実施しました。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		保育所等訪問支援に携わっているスタッフ間では振り返りができていますが、他スタッフとも情報共有ができると良いと考えます。	訪問支援に直接携わっていないスタッフも、情報の共有ができるようミーティングでの報告等を実施していきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		いただいたご意見をもとに、業務改善を行っていきます。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		今回のアンケートをもとに、業務改善が行えるようにしていきます。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	外部評価については実施しておりません。	日々、PDCAサイクルを回して、業務改善に努めています。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		資質の向上を目的とし、事例検討による研修を日常的に行っております。外部研修にも積極的に参加をしています。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		定期的なアセスメントを行い、保護者のニーズを踏まえた計画を作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児童発達支援管理責任者を中心とし、複数のスタッフが計画作成に参画し、日常的に全てのスタッフが支援について理解し支援する体制となっています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		園での課題をお聞きし、その内容を計画に盛り込むようにしております。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		日常的に支援計画の振り返りを行って支援しています。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		子どもの特性やADL、IADLの情報をまとめ、全員が把握できるように記録、ミーティングしています。	保育所等訪問したスタッフ以外のスタッフも情報共有ができるように業務改善をしています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		お子さんの園での様子を観察しながら、ガイドラインに沿った支援が行えるようにしております。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		計画を回覧するなどし、情報共有を行えるようにしています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		訪問前に前回の振り返りをして、訪問時どのような点に着目して観察すればよいかの確認を行っています。	訪問前に園の先生に様子をお聞きするなどして、よりスポットでお子さんが観察できるようにしていきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		訪問したスタッフや児童発達支援管理責任者を中心に振り返りを行っています。	訪問していないスタッフも振り返りに参画ができると良いと考えます	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		現場の先生方のご意見をお聞きして支援を行っています。	不十分な部分があり、今後改善が必要と考えております。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		記録を通して、園の先生方や保護者様に、園でのお子さんでの様子や支援についてお伝えできるようにしています。	より分かりやすい記録記入ができるようにしています		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		訪問後に、書面やお電話で報告を行い、保護者様や園の意向を確認し、必要に応じて見直しを行っています。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		管理者及び児童発達支援管理責任者が中心となり参画しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		ご相談を受けたり、連携が必要な方がいた場合は積極的に連携を図ってきたいと思います。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	今までに移行支援を行ったことがありませんが、今後、移行支援を行う場合には、支援内容などの情報共有を図ってきたいと思います。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	機会があれば、外部の研修に参加したり、助言を受けたいと考えております。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		大里自立支援協議会子どもプロジェクトコアメンバーとして活動を行っております。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		園での様子等、日頃の児童発達支援ご利用時に伺っております。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		訪問後、報告面談をさせていただき、ご家庭で取り組んでいただきたいこと等のお話をさせていただいております。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約の際に、ご説明しています。運営規程は入口に常設もしています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		訪問を開始する前や、初回の訪問時にお時間をとっていただき、訪問先に事業の趣旨や行動分析についてのお話をさせていただいております。	現状で行っているものではなく、訪問を開始する前に、趣旨や目的等の丁寧な説明が必要であると感じております。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		計画作成の際は面談をさせていただき、必ずご家族からお話を伺っております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		原則、児童発達支援責任者が説明を行い、同意をいただいております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		ご相談を受けた場合は、別途面談の時間をお取りしております。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	過去に講演会の開催や毎年バザー等のイベントにて交流できる機会を設けております。	今後も、法人として交流できるような機会を設定していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		相談や申入れがあった場合には、速やかに体制を整備したり、面談の機会を設けるなどの対応をしています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		日常の連絡ではアプリを使用しております。また、ブログやLINE、Instagram等のSNSを運用しております。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		施錠できる場所に保管する等し対応しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		お子さんとは絵カード等を用いて言葉を促すなど意思の疎通が図れるように支援を行い、保護者とは送迎時に具体的な支援の報告をしています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		相談や申入れがあった場合には、速やかに体制を整備したり、面談の機会を設けるなどの対応をしています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		オンラインでのカンファレンスとなることが多いですが、報告の書類をもとにお話をさせていただいております。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		報告の面談を行っております。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		施錠できる場所に保管する等し対応しています。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		訪問先の園の先生の困りごとに対応できるようお話を伺っております。	引き続き、信頼関係を築きながら、園の先生方の困りごとにコミットできる支援を行ってまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		策定し、職員がすぐに手に取れるところに設置しています。事業所として年2回以上の避難訓練および防災訓練を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		策定し、職員がすぐに確認できるところに掲示しています。事業所として定期的に必要な訓練を行っております。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		事業所として、ヒヤリハットの書類をファイルに綴り、共有できるようにしています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待を防止するための研修に積極的に参加しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		現状の支援では必要性がないと感じていたため、特別に取り組んでいません。	